

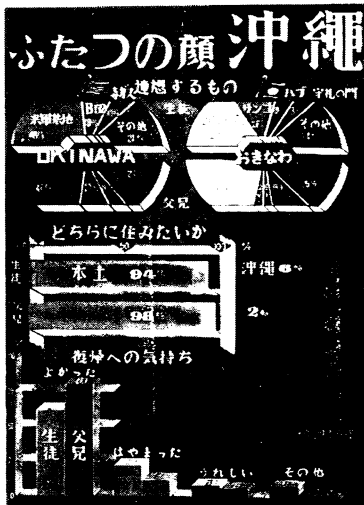
統計茨城

10月号

(1)

目次

県統計グラフコンクール入選作品



第3部 第1席
結城市結城南中
越塚敏典，田辺尚章

1 統計論壇	1
2 茨城県の下請実態について	2
3 家計収支とその構造 その2	4
4 指標	
1 主要経済指標	6
2 人口	8
3 労働	10
4 農業	12
5 鉱工業	13
6 金融	14
7 運輸	15
8 物価	16
9 家計	18
5 県統計グラフコンクール選評	20
6 統計随筆	21
7 統計ニュース	
10月の主な行事	21

利用上の注意

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 統計表の数値は原則として単位未満は四捨五入 | 2 年度は4月から翌年の3月まで |
| 3 記号 | |
| — 零または該当数字のないもの | r 訂正数字 |
| 0 該当数字が掲載単位未満のもの | △ 減少または出超 |
| … 不詳のもの | x 秘密保持のため掲載をひかえたもの |
| p 暫定数字 | |

統計は誰のもの

東京教育大学教授 三 瀨 信 邦

「誰が為に鐘は鳴る」ではないけれども、「誰が為に統計は作られる」ということを考えてみよう。その答は簡明瞭である。すなわち、「官庁の為に統計は作られる」。そのことがよいか悪いかは後に考えることにして、この事実を否定することはできない。それならば、何故に統計が官庁の為に作られる、のであろうか。その答もまた簡明である。統計——ここでは社会経済統計を指す——の独占的生産者は官庁であり、その官庁が統計の最大の消費者、利用者でもあるからだ。そして、最大のメーカーが同時に最大の消費者である、というところに統計の特色がある。したがって統計の世界では消費者が文字通り王様であり、一般商品の消費者のように王様が実は奴隷であった、というようなことはない。

生産と消費をほとんど一手に引き受けている統計の王様——官庁——にも、しかし大王、中王、小王とでもいうべきランクがある。大王すなわち中央官庁であり、中・小王はすなわち地方自治体である。さらに面倒なことは大王がかなりたくさん君臨していることである。その諸大王の名は各省庁である。

読者は既によく御承知のように、日本の官庁統計機構は、中央統計局をピラミッドの頂点としたようなものではなく、各省庁が群雄割拠しており、縦割り方式による分裂型中央集権である。統計局、経済企画庁、大蔵省、文部省、厚生省、農林省、通産省、運輸省、労働省、建設省、郵政省、自治省、最高裁、等々それぞれに大王であり、統計機構上はみな独立国である。行政管理庁行政管理局統計主幹という長い長い名前のコントロールタワーがあるが、かつての行政委員会としての統計委員会（昭21.12.28～昭27.7.31）と比較してみると大王たちの主権を制限する力はない。もっとも、その統計委員会ですら、「日本統計制度再建史」——統計委員会史稿、記述篇——（財団法人、日本統計研究所、昭37年3月刊）によれば、その行政能力を十分に発揮することはできなかった（前掲資料52頁参照）。

今から十年も前の記述ではあるが、今日の日本の官庁統計のコントロールの困難さを実によくあらわしている。こうした多元的統計機構は当然に末端機構をも多元化することになる。すなわち、都道府県、市町村の統計課をはじめとして、ほとんどの各省庁は自己の系列下に統計機構をもつ、その詳細は、「統計基準年報」（行政管理庁行政管理局統計主幹刊、昭和44年度版と昭和45年度版が刊行されている）をみればよくわかる。そして、大王（中央官庁）がそれぞれ直轄の機構を駆使して統計データの獲得を行なう一方、地方自治体（中小王）が別大王の下部機構となって統計生産を行なう。かくて、天下麻の如くとはいわれないけれども、日本の官庁統計機構はまことにスッキリしないのである。そしてスッキリしないまま、とにかく統計はそれぞれの中央官庁の行政需要に応ずるべく作られている。行政需要向きの統計が悪いというのではないが、行政需要は中央と地方でその内容はこととなり、大王の需要と中・小王の需要はときに対立することもある。いわんや地域住民や社会科学的研究の需要に大王の需要がマッチするとは限らない。

「統計は誰のものか」。一般的には万人のものを目指すべきだろうが、それは空論に等しい。上述の日本統計機構からうかがえることは、多分に中央行政需要という名

目で、言ってみれば大王どもの縄張り主義がまかり通っている。敗戦以来4分の1世紀をすぎた現在、中央統計局構想は夢のまた夢となりはてた。とすれば、この群雄割拠式統計機構を前提として「統計は誰のもの」という自問に自答しなければならない。その一つの手がかりとして地方自治と指定統計というポイントをおさえてみてはどうであろうか。

地方自治の本旨はもともと中央直結の思想とは相容れない思想である。しかし、統計は最終的には国民経済の単位で集計されなければならないから、中央直結は基本型である。ここに地方自治と統計機構との矛盾がある。換言すれば統計生産と統計利用との間に矛盾が生ずる。地方自治体の統計課がその能力の大部分を指定統計の生産に消費している現状をどう考えたらよいか。「指定統計返上論」という一見暴論とも受けとれる主張が一部の地方自治体にあるという、なぜだろう。統計法第一条にうたわれている統計制度の改善発達、統計体系の整備の理想と、「指定統計返上論」とは敵対するものかどうか。私は地域住民の福祉の追求を第一義と考える地方自治と、統計法第一条の理想とは本当は矛盾敵対はしないと思う。なぜならば、同法第一条の冒頭の一句にいう「統計の真实性の確保」は、地方自治体、そこに住む国民一人一人が統計に積極的に取り組むことを抜きにして実現できないからである。

そこで、具体的にはどうすれば地方自治体と国民一人一人が統計の生産とともに、利用についてもっと積極的に取り組むことになるのか。まず、指定統計に限って言えば、自治体が指定統計の結果表をどこまで地方行政需要に役立てているかを総点検することではないか。たとえば、全国集計では表章されているが、自治体単位では結果表として表章されていないものが多数ある。自治体はもっと自分が利用できる結果表の表章を大王どもに要求すべきである。特別に再集計の経費を支出しても、改めて同種の調査をやるよりもはるかに安上がりであろうし、指定統計をさらに自分のものとして役立てることができるのではないか。また、大王の群雄割拠が被調査者を苦しめている実情は中王、小王がもっともよく見聞している筈だから、大王の専横を改心させるためにも、地方自治体は自らの手でまず、自治体内部の統計や報告の調整を積極的に手がけるべきではないか。そのことを既にはじめている自治体もある。大王の群雄割拠はコントロールタワーの手ではもはやとても調整できない。むしろ自治体の側が手とり合せて調整を必要を強調してはどうであろう。そのための一つの「争議行為」としては「指定統計返上論」を私も支持したい。

指定統計の調査結果の地方還元は従来もしばしばいわれてきたことであるが、これ一つを実現することも容易な業ではないであろう。しかし、統計法施行から丁度、4分の1世紀を経た現在、日本の官庁統計もようやく大きな曲角にさしかかったように思える。ここで一念発起して統計を誰のものでもない、自分のものにするために地方自治体が動き出すときではないか。高度成長と公害行政、経済発展と福祉行政で示した中央と地方のきわ立った対比を考えると、統計の分野でも自治体が先行して、これからの統計のあり方を示すことができると思うのである。

茨城県の下請実態について

— 昭和46年茨城県工業実態調査から —

要	約
1 この調査は、重工業部門で従業者規模4~299人の下請事業所の実態を調査したものである。(ただし、外注については300人以上の事業所を含む。)	赤字企業が11.6%、0~4%未満が50.9%、4~8%未満が20.4%、8%以上が8.8%で、全般的に、収益率は低い。
2 同部門の事業所は、約7割が下請を行っており、下請事業所の出荷額、加工賃等の合計(以下「出荷額等」という。)は1,107億円である。	4 県内事業所の外注に対する年間支払金額は732億円である。
3 企業の収益率(売上高対税引後純利益率)は、	5 下請取引の形態は--社専雇下請が48%で取引の系列は固く結ばれている。

1 下請事業所数
46年工業統計による重工業部門の従業者規模4~299人の事業所は、2,144事業所で、そのうち下請を行なっているのは、1,490事業所(69.5%)である。

産業別にみると、本県の主要業種である電機、輸送機、一般機械等機械加工部門に高い比率を示している。

また、従業者規模別では規模の小さい程下請をしている比率は高く、地域別では県北に下請事業所が多い。

2 従業者数

工業統計による対象業種の従業者数は、63,297人で、そのうち下請事業所の従業者数は37,005人(58.5%)である。

業種別にみると電機が16,999人で最も多い。

3 製造品出荷額等

下請事業所の出荷額等は1,107億円で、46年工業統計の同業種の出荷額等の43.0%を占めており、業種別では、電機、非鉄、機械に多く、規模別では、規模の大きくなるに従って出荷額等も多くなっている。

なお、下請の特徴として、加工賃収入が出荷額等の17.8%を占めており、下請の少ない軽工業等の分野に比較して高い比率を示している。

次に下請をしていない事業所を原因別に調べてみると、資本金規模の大きな企業(5千万円以上)の事業所、本社が県外にあって本社の指示によって生産しているもの、および多数の取引先から下請でない注文を受け生産している事業所が多い。

第1表 下請事業所数、従業者数、出荷額等(従業者規模4~299人) (単位：人、百万円)

産 業・規 模	工 業 統 計			下 請 事 業 所			比 率 %		
	事業所数	従業者数	出荷額等	事業者数	従業者数	出荷額等	事業所数	従業者数	出荷額等
総 数	2,144	63,297	257,419	1,490	37,005	110,781	69.5	58.5	43.0
鉄 鋼	70	2,413	20,694	35	656	2,223	50.0	27.2	10.7
非 鉄	61	2,867	35,798	39	1,518	19,967	63.9	52.6	55.8
金 属	512	9,676	35,006	323	5,291	12,917	63.1	54.7	36.9
機 械	378	10,056	39,687	258	5,747	16,568	68.3	57.2	41.7
電 機	752	27,655	79,065	566	16,999	44,388	75.3	61.5	56.2
輸 送 機	221	5,790	34,482	166	3,993	9,394	75.1	69.0	27.2
精 機	150 ※	4,820 ※	12,747	103	2,802	5,325	68.7	58.1	41.8
4 ~ 9人	842	5,332	9,647	628	4,006	5,701	74.6	75.1	59.1
10 ~ 19 "	537	7,848	18,709	387	5,990	11,543	72.1	76.3	61.7
20 ~ 49 "	417	13,159	40,253	288	9,523	22,611	69.1	72.4	56.2
50 ~ 99 "	219	15,276	57,612	134	9,313	28,879	61.2	61.0	50.1
100 ~ 299 "	129 ※	21,682 ※	131,198	53	8,173	42,048	41.1	37.7	32.0

※ (注) 工業統計の「精機」及び「100~299人」には「武器」を含む。

4 事業開始年別事業所数

下請事業所の創業を年次別にみると昭和41年以降が38.5%、36~40年が25.2%で好況時の創業が多く、終戦前からの事業所は6.2%である

第2表 事業所開始年別事業所数

終 戦 前	終戦時 ~30年	31年~ 35年	36年~ 40年	41年~ 現在	計
93 事業所	234	214	376	573	1,490
6.2 %	15.7	14.4	25.2	38.5	100.0

5 企業収益率

企業の収益率（売上高対税引後純利益率）を収益階層別にみると昭和46年は景気停滞の年であったので、赤字欠損の企業が11.6%あり、また収益率は、0~4%未満

の企業が50.9%、4~8%未満が20.4%、8%以上は17.1%で全般的に収益率は低く、経営のきびしさがみられる。

第3表 収益率階層別事業所比率（下請している事業所）

産 業	合 計	赤 字	0~2% 未 満	2~4% "	4~6% "	6~8% "	8~10% "	10%以上
総 合	100.0	11.6	24.8	26.1	11.5	8.9	8.3	8.8
鉄 鋼	100.0	11.4	31.4	20.0	5.7	14.4	11.4	5.7
非 鉄	100.0	20.5	38.5	23.0	7.7	—	2.6	7.7
金 属	100.0	9.9	23.8	22.0	13.6	9.3	9.3	12.1
機 械	100.0	14.3	24.0	23.3	10.5	9.7	7.8	10.4
電 機	100.0	11.7	25.3	29.0	11.7	7.4	7.4	7.5
輸 送 機	100.0	12.7	22.9	30.8	8.4	10.2	8.4	6.6
精 機	100.0	4.9	23.3	26.2	14.6	13.6	11.6	5.8

6 外注の状況

規模300人以上の事業所を含め、県全体で823事業所が外注をしており、年間支払金額は732億円であった。

規模300人以上の事業所の外注状況は36事業所延2,112事業所に外注をしており、年間支払金額は503億円である。

支払額を業種別にみると、機械、電機の2業種で87%を占めている。

さらに、299人以下の従業者規模で外注をしている事業所は787で、年間支払金額は229億円である。うち下請をしている事業所からの年間支払額は109億円で、下請をしていない事業所からの支払額は119億円である。

第4表 産 業 別 外 注 状 況

産 業	外注を行なっている事業所	外注先事業所数	外注先に支払った外注金額(百万円)
総 計	823	9,450	73,225
鉄 鋼	20	238	512
非 鉄	23	184	639
金 属	162	1,182	5,637
機 械	189	1,900	29,256
電 機	297	4,103	28,270
輸 送 機	80	775	5,823
精 機	52	1,068	3,523

7 取引の形態

(1)下請事業所の取引形態を、最大販売先に対する販売割合でみると、販売割合が80~100%の取引関係をもつ事業所が60.0%を占めており、業種別では輸送機、電機、精密に高い比率を示している。

さらに、販売先上位3社で、販売割合が80~100%の

事業所に91.1%で、受注は安定しているものとみられる。

また、この割合が50%未満のものは2%にすぎない。

(2)最大取引先を資本金別にみると5,000万円以上の会社が48.1%、500~5,000万円未満の会社と取引している事業所が28.2%となっている。

(3)1社と専属取引

下請事業所のうち1社と専属取引しているものは全体の43.0%で規模別にみると規模の小さい程高い比率を示している。

(4)数社と下請取引

複数企業の下請をしている事業所は全体の39.6%で、1社専属に次ぎ、規模別では10~49人の規模が高い比率である。

(5)下請と下請でない取引の組合せ

事業所数では全体の12.4%である。この形態は市場流通のある製品の生産、または鉄骨などのように下請と自己受注の可能な業種に多くみられ、業種別では、金属、電機、非鉄などの業種、地域別では県西、県南が高い比率を示している。

8 商工会議所、商工会または事業協同組合の加入状況

商工会議所、商工会は国の経営改善事業の実施団体として小規模事業者の指導に当たっているが、これらの団体への加入状況をみると、加入している事業所は下請をしている事業所全体の69.1%である。

また、中小企業者が相互扶助の精神に基づいて協同して事業を行なうことによって、公正な経済活動の機会を確保し、経済的地位の向上を図るための組織である事業協同組合には26.0%が加入しているにすぎない。

組合事業の利用部門をみると資金貸付の利用が最も多く、生産加工、教育情報調査、共同受注の順となっている。

(県統計課臨工統計係)

家計収支とその構造その2

総理府統計局調査部
消費統計課課長補佐

酒 井 忠 敏

消費水準とエンゲル係数

第4表でみると消費支出は各市とも年々上昇しているが、昭和38年に比し最も大きく上昇しているのは福島市の約2.5倍、最も低率を示しているのは浦和市で約2倍である。

この消費支出は住居費、光熱費のように世帯人員の大きさにあまり影響を受けない支出もあるが、食糧費など比較的な人数の大きさに敏感とみられる支出もある。

そこで、今、仮りに食糧費、被服費、雑費を世帯人員1人当たりとし、住居費、光熱費を世帯平均額そのままとし合計すると第5表のようになる。

これをさらに地域差を除去して比較するために地域差指数で除去してみると、水戸市の消費支出が最も多く、

ノっている。また水戸市では消費支出に特徴があり、食べる費用が少なく着飾る被服費への支出が多くなっている。

消費支出に占める食糧費の割合である「エンゲル係数」は各市とも年々減少しているが、46年では千葉県の32.7%が最も高く、水戸市の27.9%が最も小さくなっている。第4表でみる限り、エンゲルの法則によれば水戸市の生活水準はこの地方で最高位で、千葉市は最低位といえそうである。時系列的にみても水戸市は38年に千葉市の46年の係数と同じ32.7%を示している。水戸市の食糧費が少ないのは第5表でもみられるが、それは水戸における昔からの傾向のようであり、エンゲル係数が20%台になったのも44年で最も早くなっている。

第4表 消費水準とエンゲル係数

(単位 円, %)

年次	福島市		水戸市		宇都宮市		前橋市		浦和市		千葉市	
	消費支出	エンゲル係数	消費支出	エンゲル係数	消費支出	エンゲル係数	消費支出	エンゲル係数	消費支出	エンゲル係数	消費支出	エンゲル係数
38	38,146	36.0	44,260	32.7	39,743	35.6	36,568	36.8	49,609	34.0	46,505	35.5
39	41,341	35.3	48,315	32.1	48,043	32.6	42,360	35.7	53,724	33.7	54,610	32.8
40	46,587	35.6	53,892	31.8	49,196	35.4	48,164	33.7	53,776	35.3	59,092	33.7
41	53,419	34.1	57,745	31.7	53,575	33.7	50,781	34.0	62,619	33.0	64,244	32.7
42	60,280	31.7	62,943	31.2	59,059	32.4	57,963	32.7	70,980	32.9	65,536	33.7
43	66,661	31.6	68,285	31.5	64,364	31.7	67,772	31.6	73,103	32.6	72,182	32.6
44	67,233	32.4	73,957	29.7	73,873	30.3	73,796	30.8	79,227	32.4	79,809	31.5
45	82,746	30.4	86,608	28.9	81,433	29.0	83,781	29.8	86,757	32.3	88,058	33.0
46	95,367	29.7	98,096	27.9	96,482	28.6	86,920	30.2	100,292	30.3	99,290	32.7

第5表 食料費、被服費、雑費の世帯員
1人当たり修正消費支出

46年月平均

費目	福島市		宇都宮市		前橋市		浦和市		千葉市	
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
食料費	28,334	27,343	27,593	26,285	30,381	32,422				
住居費	10,220	10,222	9,235	9,557	11,627	11,207				
光熱費	3,573	3,384	3,179	2,940	3,546	3,377				
被服費	10,559	11,507	9,398	9,081	9,526	10,190				
雑費	42,681	45,640	47,079	39,057	45,212	42,094				
合計	95,367	98,096	96,482	86,920	100,292	99,290				

その他の費目別支出

消費支出に占める住居費の割合をみると、浦和市が最も大きく、宇都宮が最も小さくなっている。水戸市も宇都宮について小さくなっている。

内訳をみると、浦和、千葉における家賃地代、福島、水戸両市における家具什器の大きい点が注目され、その地域性がでている。

光熱費は各市とも消費支出の3.3%から3.7%となっていて大差はない。

被服費について消費支出に占める割合をみると、水戸市が11.7%と最も高率で、最低は浦和市の9.5%となっている。水戸は和服、洋服への支出が他市に比べ多く、

また、くつ下、生地、毛糸などの他の衣料への支出も目立って多い。

雑費は食糧費に比べて、随意的、文化的性格をもつ支出項目であるが、第8表でみると宇都宮市が消費支出中最も高率を示し、ついで水戸市の順となっている。

この中で水戸市で交際費、仕送り金、教養娯楽が多いのが目立ち、浦和市、千葉市で、交通通信、理容衛生が多くなっているのと対照的である。

第6表 住居費の費目別支出額
46年月平均 (単位 円, %)

費目	福島市	水戸市	宇都宮市	前橋市	浦和市	千葉市
	(10.7)	(10.4)	(9.9)	(11.0)	(11.6)	(11.3)
住居費	10,220	10,222	9,235	9,557	11,627	11,207
家賃地代	1,750	1,486	2,003	1,533	3,161	2,640
設備修繕	2,070	2,457	2,490	1,923	2,845	2,441
水道料	348	406	266	483	606	582
家具什器	6,052	5,873	4,476	5,619	5,014	5,544

() 内は消費支出に対する割合

第7表 46年月平均 被服費の費目別支出額
(単位 円, %)

費目	福島市	水戸市	宇都宮市	前橋市	浦和市	千葉市
	(11.1)	(11.7)	(9.7)	(10.4)	(9.5)	(10.3)
被服費	10,559	11,507	9,398	9,081	9,526	10,190
和服	703	980	729	494	256	698
洋服	3,118	3,134	2,550	2,415	2,802	3,076
シャツ下着	1,741	1,703	1,764	1,796	1,604	1,710
他の衣料	2,373	3,045	1,927	1,986	2,173	2,017
身の回り品	2,624	2,645	2,427	2,390	2,691	2,689

第9表
46年月平均

実収支以外の費目別収支

(単位 円)

費目	福島市	水戸市	宇都宮市	前橋市	浦和市	千葉市
実収入以外	23,242	29,884	27,649	28,941	30,963	26,250
貯金引出	15,037	25,153	19,757	20,474	25,638	21,735
保険取金	106	0	332	1,065	717	351
借入金	982	432	569	1,436	1,624	349
月賦掛買	6,588	3,748	6,839	3,891	2,876	3,150
有価証券売却	260	337	0	1,933	0	286
実支出以外	49,302	57,179	50,284	57,788	57,989	48,786
貯金	31,588	38,746	30,133	35,464	40,912	32,041
保険掛金	4,952	5,237	5,213	4,696	5,687	5,151
借金返済	4,253	2,751	2,835	3,226	4,702	3,181
月賦掛買払	7,020	5,365	8,122	6,665	4,210	4,517
財産購入	391	3,069	3,438	6,465	1,228	2,743

第8表 雑費の費目別支出額
46年月平均 (単位 円, %)

費目	福島市	水戸市	宇都宮市	前橋市	浦和市	千葉市
	(44.8)	(46.5)	(48.8)	(44.9)	(45.1)	(42.4)
雑費	42,681	45,640	47,079	39,057	45,212	42,094
保健医療	2,160	2,284	2,423	1,827	2,543	2,372
理容衛生	2,395	2,277	2,247	2,365	2,562	2,642
交通通信	2,850	3,087	1,990	1,918	3,990	3,463
自動車関係	2,934	2,419	5,422	3,952	1,461	1,281
教育	2,703	2,713	2,074	1,807	2,968	2,476
教養娯楽	7,084	8,072	7,104	7,035	8,487	7,317
仕送り金	1,773	2,969	2,318	1,917	639	1,163
負担費	936	445	704	683	576	553
交際費	7,414	9,496	7,837	7,977	8,031	7,745

実収支以外の収支

実収支以外の収支での特徴は、資産増減とか負債増減を伴うような収支ということで貯金、保険、借金、掛買等の出し入れからなっている。

したがって、その収支は、実収支とは異なり、収入よりも支出の大きい方がそれだけ家計に余力があるということで、家計の健全さを示すものである。

水戸市は、浦和市、前橋市と並んで57千円台の支出を示し健全なようである。各市とも貯金が最も多い。またその他の項目についての比較では、保険掛金は浦和市、借金返済は浦和市、福島市、月賦支払いは宇都宮市とそれぞれ多くなっている。

以上、水戸を中心とした地域比較をこころみだが分析も浅く、上すべりに終わってしまったことをおわびしてこの稿を終ります。

主要経済指標

1 主 要 経 経

茨 城 県

年 月	財政資金 対民間 収 支	銀 行 勘 定		銀 行 券		手形交換高		不 渡 手 形		株 式 取引高	県 民 所 得	
		実 預 金	貸 出 金	増	減	枚 数	金 額	枚 数	金 額		純 生 産	分 配 所 得
	百万円	百万円	百万円	百万円	千枚	百万円	枚	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
昭和44年	△43,693	434,641	239,067	31,081	560	274,201	9,740	1,111	66,850	814,194	825,411	
45	△44,896	765,166	470,270	...	593	338,391	11,218	1,596	83,727	1,001,723	1,012,298	
46. 8	8,461	1,057	3,168	△3,120	108	43,815	1,848	242	15,158	
9	△10,621	16,460	4,799	△514	107	44,946	1,648	218	7,123	
10	△ 6,954	422	1,462	970	101	43,664	1,450	201	6,280	
11	△14,389	20,805	13,366	1,680	119	47,465	1,998	267	
12	△ 2,901	14,837	17,237	18,015	138	62,228	1,574	269	
47. 1	10,120	△10,517	△2,495	△18,935	100	50,403	1,372	153	13,406	
2	4,452	2,613	7,733	311	108	45,589	1,538	166	13,129	
3	△4,701	32,668	6,089	3,071	115	53,785	129	126	12,599	
4	△8,471	p△533	p858	1,085	97	48,681	763	85	10,087	
5	570	11,305	△5,797	△1,228	130	58,490	1,523	200	14,147	
6	△7,391	12,474	9,012	5,919	121	60,113	1,073	139	r15,861	
7	8,521	11,221	11,388	r△3,502	118	57,063	1,174	141	19,917	
8	8,749	7,902	6,858	△6,355	118	57,253	1,148	139	

(注) 県民所得は年度数値

全 国

年 月	財政資金 対民間 収 支	全 国 銀 行 勘 定		全 国 銀 行 貸 出 約 定 平 均 金 利	銀 行 券 発 行 高	手 形 交 換 高		不 渡 手 形	
		実 預 金	貸 出 金			枚 数	金 額	枚 数	金 額
	億円	億円	億円	(%)	億円	千枚	億円	千枚	億円
昭和44年	※△1,312	328,541	337,844	7.41	48,113	379,264	2,620,324	3,274	6,218
45	※1,447	380,094	394,793	7.66	55,560	439,166	3,189,805	3,407	7,796
46. 8	△11,070	436,988	448,552	7.573	51,483	32,452	321,175	265	619
9	△3,919	450,829	457,355	7.543	51,299	32,250	316,929	268	703
10	△1,977	448,918	463,130	7.251	51,561	30,582	290,090	199	491
11	△7,228	469,522	470,904	7.488	52,250	34,521	318,956	234	549
12	△5,215	487,593	490,480	7.457	64,077	42,302	377,090	198	510
47. 1	9,432	479,216	492,500	7.407	54,862	28,039	288,017	149	339
2	953	485,475	498,928	7.340	55,907	31,609	294,497	183	418
3	△2,127	505,731	511,022	7.273	55,862	33,622	351,220	170	449
4	△3,643	505,060	514,453	7.236	57,690	29,033	311,968	114	309
☆ 5	2,012	524,692	520,750	7.191	55,557	36,912	353,013	199	488
6	3,699	532,274	532,155	7.130	60,496	36,012	348,688	147	380
7	4,711	540,302	546,563	7.010	62,020	34,001	354,839	141	359
8	4,280	59,860

(注) ※は年度数値 ☆印月以降は沖縄県を含む。

濟 指 標

百貨店 売上高	鉱工業 生産指数 (総合)	建 築 着 工		雇用指数 (総合)	賃金指数 (総合)	消費者 物価指数 (水戸・総 合・平均)	勞 働 市 場			年 月
		工 事 費 額	床 面 積				新 規 求 職	新 規 求 人	失 業 保 險 被 保 險 者 総 数	
百万円		百万円	千㎡				人	人	人	
11,396	r174.3	106,633	4,175	93.9	83.5	100.0	40,124	80,277	277,854	昭和44年
13,108	r192.8	160,129	5,228	100.0	100.0	104.3	42,154	78,980	294,646	45
897	213.4	15,737	358	102.0	100.4	106.4	4,070	5,785	308,408	46. 8
943	225.9	13,312	420	100.2	93.5	109.4	5,152	7,079	306,768	9
1,183	219.6	15,341	428	99.6	98.5	110.4	3,693	5,956	307,005	10
1,177	225.8	13,885	416	99.8	95.6	108.4	3,455	4,406	307,499	11
2,014	237.5	13,702	416	99.6	265.9	108.4	3,958	3,389	308,256	12
1,403	230.3	9,239	272	99.5	102.4	108.5	4,508	6,624	306,412	47. 1
912	255.0	12,004	324	99.1	94.1	109.1	3,840	5,586	305,911	2
1,562	243.0	16,643	457	99.1	98.3	110.2	4,720	6,665	309,755	3
1,553	234.6	13,106	365	101.5	100.5	110.9	4,181	6,626	314,693	4
1,405	249.2	10,503	317	101.0	102.4	110.6	4,057	6,299	316,621	5
1,457	259.9	11,537	333	101.2	212.6	110.3	3,657	4,372	318,269	6
1,919	110.2	3,830	5,405	...	7
1,360	8

資料：日本銀行水戸事務所 県統計課 建設省計画局調査統計課 県職業安定課

株 式 取 引 高	国 民 総 生 産	百貨店 売上高	鉱工業 生産指数 (総合)	建 築 着 工		雇用指数 (総合)	賃金指数 (総合)	消 費 者 物 価 指 数	失 業 保 險 被 保 險 者 総 数	年 月
				工 事 費 額	床 面 積					
億円	億円	億円		億円	千㎡				千人	
186,748	629,204	15,142	185.9	53,401	182,748	97.0	85.5	92.9	20,765	昭和44年
120,303	732,137	18,242	215.9	66,697	205,034	100.0	100.0	100.0	21,173	45
17,185		1,459	217.8	6,403	17,637	101.4	103.3	105.7	21,928	46. 8
8,764		1,470	236.7	6,643	17,654	101.1	92.5	108.6	21,893	9
9,159	233,144	1,838	230.8	6,708	17,688	100.8	94.4	108.8	21,882	10
14,517		1,823	232.5	7,075	17,866	101.2	96.1	107.7	21,936	11
18,739		3,705	240.5	6,731	17,235	100.9	255.9	107.7	21,674	12
20,207	200,959	1,458	218.9	5,673	14,326	99.9	96.0	107.8	...	47. 1
20,301		1,472	233.5	5,597	14,716	99.4	92.9	108.2	...	2
20,064		1,973	256.1	8,505	21,671	p99.5	99.3	109.2	21,478	3
15,573	...	1,867	240.4	7,565	19,426	p101.9	99.0	110.3	21,863	4
17,938		1,752	236.6	7,078	18,343	p101.6	101.0	110.7	...	5
19,653		1,828	251.1	8,878	21,379	p101.5	173.6	110.7	...	6
24,301		2,615	110.7	...	7
...		8

資料：日本銀行統計局 通商産業省 建設省計画局調査統計課 総理府統計局

人 口

2 人 口

茨 城 県

2-1 世帯、人口および人口移動

(単位：世帯、人)

年 月 日	世 帯 数	人 口			人 口 移 動				
		総 数	男	女	増減数	自 然 動 態		社 会 動 態	
						出 生	死 亡	転 入	転 出
昭和40年10月1日	447,871	2,056,154	1,007,852	1,048,302	7,761	34,447	16,533	△10,153	
45	508,291	2,143,391	1,054,218	1,089,173	37,413	38,228	17,214	16,399	
46	525,585	2,180,835	1,075,077	1,105,758	23,417	40,061	16,644	10,801	
46. 9. 1	524,747	2,177,497	1,073,376	1,104,121	3,678	3,265	1,248	9,394	7,733
10. 1	525,585	2,180,835	1,075,077	1,105,758	3,296	3,366	1,070	8,837	7,837
11. 1	526,387	2,183,181	1,076,517	1,106,664	2,383	3,378	1,334	8,996	8,657
12. 1	527,488	2,618,046	1,078,186	1,107,860	2,809	3,199	1,354	9,203	8,239
47. 1. 1	528,813	2,189,998	1,079,997	1,110,001	3,792	3,467	1,516	9,345	7,504
2. 1	529,564	2,192,523	1,081,222	1,111,301	2,532	3,587	1,608	8,606	8,053
3. 1	530,027	2,195,173	1,082,567	1,112,606	2,646	3,518	1,514	8,767	8,125
4. 1	529,937	2,190,851	1,080,337	1,110,514	△4,275	3,525	1,628	15,328	21,500
5. 1	533,287	2,194,604	1,082,525	1,112,079	3,788	3,197	1,386	17,900	15,923
6. 1	535,202	2,198,453	1,084,763	1,113,690	3,703	3,498	1,328	10,888	9,355
7. 1	536,183	2,201,452	1,086,294	1,115,158	2,981	3,300	1,223	8,814	7,910
8. 1	536,938	2,204,765	1,087,996	1,116,769	3,298	3,403	1,193	8,453	7,365
9. 1	537,676	2,208,504	1,089,929	1,118,575	3,710	3,474	1,241	8,750	7,273

(注) 人口移動のうち1 昭和40年～昭和46年については各年の年間数値を示す。

2 昭和46年、47年の月別人口移動については前月の月間数値を示す。

資料：県統計課

2-2 市 町 村 別 人 口

(単位：人)

市 町 村	昭和40年 10月	45年10月	46年 9月	47年 9月	市 町 村	昭和40年 10月	45年10月	46年 9月	47年 9月
総 数	2,056,154	2,143,551	2,177,497	2,208,504	竜ヶ崎市	34,917	37,267	37,566	38,081
市 部	965,795	1,064,697	1,082,856	1,097,497	那珂湊市	33,620	32,873	32,774	32,790
郡 部	1,090,359	1,078,854	1,094,641	1,111,007	下妻市	28,260	27,699	27,659	27,837
水戸市	154,973	173,789	178,176	182,926	水海道市	36,584	36,679	36,804	37,188
日立市	179,703	193,210	196,609	197,749	常陸太田市	36,974	35,470	35,272	35,361
土浦市	78,971	89,958	12,032	95,076	勝田市	52,625	66,754	70,241	72,618
古河市	50,202	54,173	54,522	55,011	高萩市	32,497	29,548	29,489	29,818
石岡市	36,789	39,508	40,186	40,743	北茨城市	55,334	48,323	47,752	44,105
下館市	51,717	53,863	54,354	55,169	笠間市	31,082	30,522	30,531	30,759
結城市	38,078	39,561	40,097	47,613	取手市	26,179	40,287	42,421	44,557

人 口

市 町 村	昭和40年 10月	45年10月	46年 9 月	47年 9 月	市 町 村	昭和40年 10月	年4510月	46年 9 月	47年 9 月
岩 井 市	33,459	35,213	36,371	37,096	稲 敷 郡	110,082	111,301	113,754	116,026
東茨城郡	128,687	128,467	127,835	128,025	江 戸 崎 町	12,266	12,088	12,083	12,127
常 澄 村	9,393	9,094	9,076	9,025	美 浦 村	8,411	8,066	8,090	8,035
茨 城 町	29,439	28,955	29,180	29,691	阿 見 町	23,390	24,907	25,532	26,262
小 川 町	15,447	16,650	16,653	16,775	牛 久 町	17,203	19,372	20,616	22,205
美野里町	14,381	14,872	14,916	15,093	荃 崎 村	6,253	6,451	6,559	6,631
内 原 町	12,695	12,935	12,868	12,996	新利根村	8,943	8,621	8,570	8,542
常 北 町	11,154	10,785	10,785	10,680	河 内 村	12,158	11,720	11,676	11,609
桂 村	7,938	7,223	7,055	7,017	桜 川 村	8,178	7,882	7,837	7,816
御前山村	6,425	5,751	5,613	5,548	東 村	13,280	12,852	12,791	12,799
大 洗 町	21,815	21,654	21,689	21,600	新 治 郡	79,312	78,798	80,941	81,820
西茨城郡	58,685	59,306	59,425	60,201	出 島 村	16,861	16,582	16,659	16,725
友 部 町	19,714	20,452	20,522	21,098	玉 里 村	5,080	5,446	5,481	5,491
岩 間 町	13,719	14,121	14,194	14,287	八 郷 町	28,741	27,433	27,268	27,129
七 会 村	3,469	3,159	3,077	3,045	千 代 田 村	11,451	13,680	14,134	14,534
岩 瀬 町	21,783	21,651	21,632	21,771	新 治 村	8,240	13,680	8,410	8,460
那 珂 郡	103,571	105,551	105,042	106,769	桜 村	8,939	8,555	8,989	9,481
東 海 村	16,565	18,960	20,225	21,807	筑 波 郡	84,937	84,349	85,229	86,539
那 珂 町	30,006	31,313	31,394	31,808	谷 田 部 町	20,093	20,134	20,287	20,517
瓜 連 町	6,832	7,043	7,081	7,096	伊 奈 村	11,241	11,171	12,353	13,222
大 宮 町	23,635	23,306	23,256	23,356	谷 和 原 村	10,062	9,901	9,949	9,997
山 方 町	11,805	10,559	10,403	10,243	豊 里 町	10,497	10,409	10,400	10,481
美 和 村	7,515	6,589	6,445	6,310	筑 波 町	22,091	21,398	21,333	21,328
緒 川 村	7,213	6,295	6,236	6,149	大 穂 町	10,953	10,856	10,887	10,994
久 慈 郡	67,875	61,894	59,585	58,375	真 壁 郡	73,394	72,699	72,041	72,415
金 砂 郷 村	13,554	12,237	12,055	11,803	関 城 町	14,368	14,226	14,307	14,374
水 府 村	10,580	9,314	9,091	8,824	明 野 町	16,682	16,091	16,089	16,159
里 美 村	6,980	6,120	6,019	5,847	真 壁 町	20,809	20,312	20,273	20,281
大 子 町	36,761	32,953	32,420	31,901	大 和 村	7,522	7,206	7,225	7,177
多 賀 郡	10,346	9,646	9,649	9,717	協 和 町	14,016	14,130	14,147	14,424
十 王 町	10,346	9,646	9,649	9,717	結 城 郡	49,080	48,597	48,251	48,454
鹿 島 郡	113,010	128,867	137,237	142,302	八 千 代 町	22,687	21,945	21,874	21,894
旭 村	10,759	10,151	10,102	10,094	千 代 川 町	7,912	7,813	7,769	7,819
鉾 田 町	26,939	26,165	26,187	26,349	石 下 町	18,481	18,473	18,608	18,741
大 洋 村	9,331	8,803	8,835	8,967	猿 島 郡	83,813	87,281	125,645	91,991
大 野 村	9,779	9,524	9,774	9,941	総 和 町	21,023	24,999	26,561	28,148
鹿 島 町	16,305	25,126	28,919	30,663	五 霞 村	8,668	8,382	8,385	8,438
神 栖 町	15,820	22,173	24,408	25,887	三 和 町	18,380	18,487	18,685	19,010
波 崎 町	24,077	27,187	29,012	30,401	猿 島 町	14,053	13,640	13,606	13,694
行 方 郡	68,169	67,852	68,876	69,504	境 町	21,689	21,773	22,037	2,270
麻 生 町	18,852	18,063	17,980	18,068	北 相 馬 郡	33,219	36,871	37,502	38,469
牛 堀 町	6,466	6,569	6,718	6,750	守 谷 町	11,475	12,500	12,529	12,835
潮 来 町	17,111	18,436	19,927	20,458	藤 代 町	13,002	16,309	16,751	17,415
北 浦 村	11,611	10,949	10,755	10,760	利 根 町	8,742	8,262	8,222	8,219
玉 造 町	14,129	13,577	13,496	13,468					

(注) 40年, 45年は国勢調査結果。ただし、46年, 47年については推計人口。

資料 : 県統計課

労働

3 労働

茨城県

3-1 現金給与総額

(単位：1カ月当たり、円)

年 月	調査産業総数	業 業				卸 売・ 小 売 業	金 融・ 保 険 業	運 輸 通 信 業	電 気・ガ ス 水 道 業
		鉱 業	建 設 業	製 造 業					
昭和44年	7,788	63,389	50,514	56,992	44,465	67,517	68,302	89,484	
45	67,429	72,173	68,842	64,558	57,113	80,645	80,507	100,098	
46	578,171	87,714	82,110	74,830	63,424	90,421	96,651	108,524	
46. 6月	121,917	114,465	115,229	120,369	77,198	158,904	134,359	252,516	
7	89,696	96,120	114,605	86,275	84,509	99,854	99,700	87,961	
8	67,667	75,735	68,347	65,749	62,278	64,445	80,384	77,120	
9	63,032	77,040	69,325	60,410	52,217	71,732	75,809	78,130	
10	66,428	81,181	68,829	60,004	50,680	62,870	113,468	79,830	
11	64,446	80,427	69,495	61,926	51,627	89,554	80,717	81,137	
12	179,261	195,036	179,887	170,190	140,132	244,617	218,458	277,108	
47. 1	69,078	76,582	69,446	63,721	59,036	68,560	78,486	82,978	
2	63,464	80,844	68,733	60,775	50,699	70,236	78,880	81,924	
3	66,256	83,467	79,240	61,855	56,209	77,942	84,282	88,061	
4	67,791	77,607	71,617	64,849	55,989	70,726	87,132	86,319	
5	69,027	79,139	68,479	67,651	55,166	64,999	83,328	104,030	
6	143,348	112,068	120,469	142,125	84,232	183,481	168,534	261,197	

(注) 1 3年ごとに標本抽出替えがおこなわれるため実数を直接比較することはできない。 資料：県統計課
2 規模30人以上の事業所

茨城県

3-3 産 業 別 雇 用

年 月	調 査 産 業 総 数				鉱 業		建 設 業		
	雇 用		賃 金		雇 用	賃 金	雇 用	賃 金	
	対前月(年) 比 較		対前月(年) 比 較						
	219,537人		67,429円			4,983人	78,173円	9,609人	68,842円
昭和44年	93.9	11.1	83.5	10.1	133.6	82.2	89.1	88.2	
45	100.0	6.1	100.0	16.5	100.0	100.0	100.0	100.0	
46	101.0	1.0	115.9	15.9	70.9	112.2	105.2	119.3	
46. 6月	101.8	0.1	180.8	99.9	82.5	146.4	98.9	167.4	
7	102.5	0.7	133.0	△ 47.8	82.6	123.0	98.8	166.5	
8	102.0	△ 0.5	100.4	△ 32.6	44.9	96.9	98.9	99.3	
9	100.2	△ 1.8	93.5	△ 6.9	45.2	98.6	100.9	100.7	
10	99.6	△ 0.6	98.5	5.0	45.9	103.8	97.4	100.0	
11	99.8	0.2	95.6	△ 2.9	46.2	102.9	107.6	100.9	
12	99.5	△ 0.2	265.9	170.3	46.9	249.5	114.8	261.3	
47. 1	99.5	△ 0.1	102.4	△ 163.5	45.6	98.0	115.7	100.9	
2	99.1	△ 0.4	94.1	△ 8.3	45.1	103.4	115.0	99.8	
3	99.1	—	98.3	4.2	45.0	106.8	118.9	119.1	
4	101.5	2.4	100.5	2.2	44.3	99.3	115.6	104.0	
5	101.0	△ 0.5	102.4	1.9	44.0	101.2	104.2	99.5	
6	101.2	0.2	212.6	110.2	44.1	143.4	105.3	175.0	

(注) 1 各指数は基準時改訂にともない時系列に、ギャップが生じないよう修正したものである。
2 規模30人以上の事業所

労 働

茨城県 3-2 労働時間 (単位：1人1ヵ月当たり、時間)

年 月	全産業	前月(年)比較	鉱業	建設業	製造業	卸売 小売業	金融・ 保険業	運輸・ 通信業	電気・ ガス・ 水道業	所定内労働時間	
										全産業	製造業
昭和44年	191.3	△ 2.8	195.6	158.8	192.8	198.6	163.4	192.7	168.6	167.8	168.3
45	189.4	△ 1.9	195.3	192.1	189.8	188.3	171.8	193.5	172.2	169.2	168.9
46	184.7	△ 4.7	194.1	197.7	183.7	185.0	166.7	192.6	172.2	168.3	168.3
46. 6	191.8	22.7	200.6	198.8	192.1	191.4	176.3	194.5	175.2	175.2	176.0
7	189.0	△2.8	196.8	203.7	191.0	159.7	175.7	194.6	188.3	172.8	175.9
8	179.3	△9.7	185.0	201.3	175.6	187.1	167.0	191.9	170.8	164.3	161.7
9	188.5	9.2	195.0	200.4	187.9	195.7	160.0	193.3	160.9	171.8	172.2
10	184.2	△4.3	188.3	196.4	183.3	183.3	158.2	197.8	166.6	168.8	169.5
11	189.3	5.1	193.7	210.7	189.8	188.3	158.0	193.8	165.6	173.6	175.2
12	188.2	△1.1	193.9	211.1	185.9	188.7	173.6	199.1	173.7	171.5	170.6
47. 1	171.6	△16.6	177.2	187.6	169.1	172.7	150.2	188.1	162.1	158.1	157.1
2	183.8	12.2	192.1	204.3	183.7	184.4	157.1	187.4	164.3	168.0	168.4
3	183.2	△0.6	193.2	205.6	181.7	181.9	167.3	190.2	173.2	166.4	165.6
4	192.3	9.1	192.5	193.4	194.3	190.5	165.4	195.1	170.0	175.7	178.2
5	171.6	△20.7	183.8	175.2	169.4	175.1	159.9	186.4	162.8	156.4	154.9
6	193.0	21.4	193.1	206.1	193.4	191.7	169.0	197.6	180.3	176.1	177.0

(注) 規模30人以上の事業所

資料：県統計課

賃 金 指 数

(昭和45年=100)

製 造 業		卸 売・小 売 業		金 融・保 險 業		運 輸・通 信 業		電 気・ガ ス・水 道 業	
雇 用	賃 金	雇 用	賃 金	雇 用	賃 金	雇 用	賃 金	雇 用	賃 金
152,049人	64,558円	15,781人	57,113円	9,596人	80,645円	24,639人	80,507円	2,585人	100,098円
93.2	82.9	91.2	98.0	85.5	79.0	94.0	87.6	98.3	89.9
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.8	115.6	102.5	111.1	110.8	112.1	101.0	120.1	98.6	108.4
101.3	186.5	104.8	135.2	113.9	197.0	103.0	166.9	97.3	252.3
102.4	133.6	104.3	143.0	113.9	123.8	102.3	123.9	99.1	87.9
101.4	101.8	102.6	109.0	114.8	79.9	101.8	99.8	100.2	77.0
100.6	93.6	102.5	91.4	115.0	88.9	100.8	94.2	100.0	78.1
99.7	92.9	102.4	88.7	114.4	78.0	102.7	140.9	99.7	79.8
99.5	95.9	102.4	90.4	110.4	85.0	103.1	100.3	100.2	81.1
98.9	263.6	102.3	245.4	109.6	303.3	102.9	271.4	99.6	276.8
98.8	98.7	102.2	103.4	107.4	85.0	103.0	97.5	99.8	82.9
98.5	94.1	100.2	88.8	107.7	87.1	102.7	98.0	99.4	81.8
98.3	95.8	100.0	98.4	109.9	96.6	101.7	104.7	100.1	88.0
101.1	100.5	102.3	98.0	115.9	87.7	103.4	108.2	102.1	86.2
101.1	104.8	101.9	96.6	116.4	80.6	102.8	103.5	101.4	103.9
101.3	220.1	101.0	147.5	116.8	227.5	104.6	209.3	100.5	260.9

資料：県統計課

農 業

4 農 業

4-1 農産物の平均販売価格

(単位：円)

茨城県

年 月	うるち米 (玄米60kg)	生 乳 (飲用10kg)	鶏 卵 (10kg)	肉 豚 (生体10kg)	乳用牛 (めす, 生 後6カ月 ホルスタ イン純種 (1頭当たり))	だいこん (1kg当たり)	きゃべつ (1kg当たり)	きゅうり (1kg当たり)
昭和44年12月	8,467	500	2,341	2,469	66,330	16	24	82
45	8,233	498	2,386	2,698	63,000	26	38	85
46. 9	8,433	533	1,924	2,627	69,667	42	76	129
10	8,433	533	1,959	2,655	69,667	19	37	96
11	8,433	533	2,277	2,604	69,667	16	25	151
12	8,433	523	1,562	2,545	69,667	21	23	169
47. 2	8,433	533	1,630	2,511	69,667	14	19	254
3	8,433	536	2,158	2,641	69,667	13	40	160
4	8,400	536	1,892	2,701	81,333	16	28	135
5	8,367	534	1,578	2,608	81,333	27	34	113
6	8,333	536	1,529	2,595	81,333	12	13	48
7	8,300	533	1,663	2,719	80,333	14	8	67
8	8,383	533	1,682	2,716	80,333	29	23	70
9	8,717	533	1,797	2,628	80,333

(注)昭和43年以降の価格は、それぞれの代表生産地における価格である。資料：農林省茨城統計調査事務所
また、だいこん、きゃべつ、きゅうりは水戸市公設地方卸売市場の卸売価格による。水戸市公設地方卸売市場

茨城県

4-2 農業用品の購入価格

(単位：円)

年 月	乳用牛 (成畜めす ホルスタ イン純種 (1頭当たり))	子 豚 (めす, 生 後60~90 日, ラン ドレース (1頭当たり))	硫 安 (N 2.1% 樹 脂 袋 40 kg)	過りん酸 石 灰 (紙 袋 40 kg, 可溶 性りん酸 17%)	複合肥料 (N8%, P 8%, K5 %, 樹脂 袋30kg)	配合飼料 (成鶏用, 紙袋20kg 粗たん白 15~19%)	配合飼料 (乳牛用, 紙袋30kg 粗たん白 15~18% 以上)	M.E.P乳剤 (スミチオン) (ニコチン 含量50% 100cc)
昭和44年12月	201,250	7,750	728	576	656	794	1,055	...
45	193,750	6,200	723	638	621	945	746	...
46. 9	205,000	10,125	736	665	638	951	764	185
10	205,000	8,625	736	665	638	935	758	180
11	205,000	8,375	736	665	638	935	752	180
12	202,500	8,375	736	665	638	935	752	180
47. 1	205,000	7,875	724	653	633	916	733	180
2	205,000	8,925	724	653	633	916	725	195
3	207,500	10,500	724	658	651	916	725	195
4	220,000	11,250	727	680	655	911	725	200
5	222,500	10,875	727	677	655	879	717	200
6	222,500	10,875	727	677	655	879	717	190
7	222,500	10,500	727	677	655	879	717	190
8	222,500	10,625	723	677	650	879	717	190
9	247,500	10,625	723	675	662	879	717	190

(注) 1 昭和43年以降の価格は農業地域代表市町村の価格である。資料：農林省茨城統計調査事務所
2 昭和43年以前の子豚の価格は中ヨークシャー50~70日程度の価格である。

鉱工業

5 鉱工業

鉱工業生産指数

茨城県

(昭和40年=100)

産 業 品 目 数 ウ ェ ィ ト	産 業											
	産業総合	公益事業	鉱工業	鉱 業				製造工業	鉄鋼業	非鉄金 属工業	金属製 品工業	機械工業 一般機械
				石炭・ 亜炭業	炭 業	金属 業	非金属 業					
年月	123	2	121	8	1	5	2	113	5	7	5	15
昭和44年	100.00	0.39	99.61	5.48	56.59	28.34	15.07	94.52	1.72	7.31	3.27	13.89
45	175.9	585.4	174.3	97.0	89.1	98.9	123.3	178.8	174.7	154.8	211.5	205.8
46	197.0	522.1	192.8	96.9	87.9	94.0	136.1	201.3	251.5	149.6	199.1	283.5
46.6	236.4	3,525.0	223.5	188.7	77.2	92.6	124.6	226.6	269.8	142.9	274.1	274.8
46.6	233.5	2,431.6	224.9	102.4	96.2	102.0	126.8	232.0	292.3	153.9	323.5	299.5
7	248.8	3,901.9	234.5	104.4	102.6	97.5	123.9	242.1	292.7	147.9	262.3	275.2
8	235.7	4,518.0	219.0	81.5	61.8	90.2	138.8	226.9	256.2	140.6	188.8	231.3
9	246.5	4,110.4	231.4	74.4	58.6	90.4	103.4	240.5	287.2	118.8	239.8	337.6
10	241.0	4,566.5	224.1	75.2	55.9	83.3	132.4	232.8	273.9	126.6	272.5	281.8
11	249.3	5,054.6	230.5	69.6	48.4	77.9	133.5	239.8	284.5	133.7	263.0	226.8
12	261.0	6,256.1	237.5	65.3	32.3	93.0	137.0	247.5	287.8	152.7	300.7	217.8
47.1	245.7	4,167.3	230.3	59.8	28.6	81.9	135.1	240.2	294.8	150.9	262.5	258.4
2	274.1	5,141.5	255.0	62.4	34.8	77.5	137.1	266.2	270.3	155.2	299.4	312.2
3	268.2	6,692.7	243.0	62.0	32.2	79.4	141.6	253.5	264.9	181.7	287.7	257.0
4	257.5	6,107.5	234.6	57.7	27.5	75.2	137.9	244.8	278.4	159.2	551.0	253.3
5	274.4	6,726.4	249.2	54.7	28.2	66.9	130.9	260.5	290.2	160.7	633.9	307.1
6	288.7	7,641.8	259.9	60.3	36.4	66.9	137.5	271.5	306.9	169.0	660.3	389.5

産 業 品 目 数 ウ ェ ィ ト	産 業														
	製 造 工 業														
	機 械 工 業			窯 業 石 学		石 油 石 炭		皮 革 品		パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加		鉄 維 工 業	木 材 製 品	食 料 品	そ の 他
	電 気 機 械	輸 送 機 械	精 密 機 械	製 品 工 業	工 業	製 品 工 業	工 業	工 業	工 業	工 業	工 業	工 業	工 業	工 業	の 工 業
年月	24	5	5	4	11	1	2	3	12	1	10	8			
昭和44年	77.62	3.78	4.71	4.69	2.72	0.18	0.48	1.26	3.89	3.18	12.38	6.80			
45	188.2	231.1	78.0	126.5	198.1	81.8	74.3	188.7	181.7	124.6	191.2	166.6			
46	194.4	265.0	91.7	134.4	308.2	1,726.8	77.0	207.2	195.3	170.4	208.3	195.9			
46.6	192.4	275.7	81.5	133.7	1,182.6	2,718.2	87.4	200.6	183.7	164.2	207.7	261.2			
46.6	172.0	253.3	98.7	120.0	1,382.8	2,971.0	89.2	205.8	156.5	155.8	209.7	261.6			
7	194.7	258.9	80.8	131.2	1,353.5	2,963.3	88.2	184.7	186.0	164.0	218.0	314.7			
8	202.6	212.3	67.0	141.9	1,262.6	3,306.6	87.6	168.1	170.1	147.6	180.0	269.2			
9	211.7	293.6	48.8	122.6	1,221.5	3,304.4	92.1	201.0	161.8	153.1	179.3	307.2			
10	186.3	365.5	72.0	126.2	1,332.7	2,776.0	87.1	207.6	168.8	150.3	191.7	294.1			
11	197.9	327.0	70.5	143.2	1,361.6	2,770.0	99.2	210.7	186.6	185.9	194.6	331.8			
12	203.4	351.8	72.7	166.0	1,317.1	3,694.0	93.6	220.6	206.7	194.1	193.9	340.2			
47.1	172.5	300.5	52.6	109.5	1,338.5	3,342.5	91.0	209.4	215.3	174.9	277.0	308.8			
2	229.9	323.7	44.9	151.9	1,376.3	3,128.6	129.5	218.5	215.5	174.9	219.0	335.2			
3	192.0	410.1	53.3	162.5	1,236.5	3,249.8	248.1	215.0	227.9	188.6	261.0	331.6			
4	189.3	283.1	43.7	132.1	1,298.9	2,982.9	99.1	218.9	239.2	174.9	176.8	320.4			
5	212.6	305.1	48.3	107.5	1,285.5	2,455.8	89.8	249.4	226.4	180.4	132.3	333.2			
6	205.7	323.0	116.2	145.4	1,322.3	1,500.7	229.4	259.9	212.4	166.7	234.2	279.5			

資料：県統計課

金融

6 金融

茨城県

6-1 金融機関別実質

年月末	総額		銀行		相互銀行		信用金庫	
	預金	貸出	預金	貸出	預金	貸出	預金	貸出
昭和44年12月	629,849	372,008	371,388	206,763	64,118	45,528	55,160	40,828
45	765,166	470,270	447,476	259,180	80,413	59,513	68,094	51,699
46	919,253	567,884	535,716	311,956	100,993	75,704	85,103	63,029
46. 7	801,391	509,329	482,135	281,924	85,357	64,134	72,913	54,647
8	805,939	515,671	483,192	285,092	86,464	65,183	74,349	55,578
9	837,503	526,833	499,652	289,891	91,740	67,936	76,208	56,634
10	845,703	531,350	500,070	291,353	91,274	69,564	77,162	57,743
11	870,387	537,189	520,879	294,719	93,330	71,240	78,478	59,625
12	919,253	567,884	535,716	311,956	100,993	75,704	85,103	63,029
47. 1	894,195	560,649	525,199	309,461	97,637	74,724	83,647	61,798
2	894,178	573,526	527,812	317,194	98,079	76,657	84,043	63,010
3	937,226	589,306	560,480	323,283	104,524	80,618	86,034	63,982
4	935,611	591,221	559,947	324,141	103,044	79,997	86,599	64,047
5	r952,270	r589,869	571,252	318,344	105,087	81,348	88,222	64,850
6	980,913	603,861	583,726	327,366	109,575	83,631	91,352	66,314
7	999,749	620,334	594,947	338,744	109,703	84,238	94,315	68,083

茨城県

6-2 銀行の業種別貸出先数および貸出残高

(単位:百万円)

産業	40年3月		43年3月		44年3月		45年3月		46年3月	
	貸出先数	金額	貸出先数	金額	貸出先数	金額	貸出先数	金額	貸出先数	金額
合計	36,375	114,351	49,636	146,887	58,968	173,862	82,723	211,904	100,249	265,186
製造業	5,413	56,255	5,960	60,322	6,319	68,908	6,729	79,479	7,034	98,106
食料品	1,583	7,557	1,448	10,407	1,446	11,364	1,457	12,033	1,350	12,780
繊維品	576	4,225	631	4,148	687	4,396	717	4,683	729	5,326
木材・木製品	1,007	3,271	1,111	4,626	1,106	5,221	1,148	5,671	1,121	6,378
化学工業	88	5,956	77	6,167	91	7,548	110	8,967	149	11,454
非鉄金属	19	3,792	35	4,629	32	5,607	36	5,772	57	6,512
電気機械器具	332	13,196	411	10,196	453	11,913	494	14,807	559	18,597
輸送用機械器具	53	4,327	64	5,727	75	6,100	91	6,530	100	7,694
農業	9,527	2,213	12,641	3,557	14,885	4,745	17,596	5,906	18,441	6,800
農林業	40	113	44	131	63	166	65	133	53	171
漁業・水産養殖業	176	1,475	215	1,753	219	1,987	267	1,787	348	1,628
鉱業	142	3,622	122	3,047	144	3,495	156	3,866	137	4,564
建設業	927	3,765	1,714	5,561	1,993	7,038	2,557	8,966	3,196	11,107
卸売小売業	11,029	27,278	12,886	44,069	13,075	51,429	14,143	61,067	14,291	72,852
卸売	2,110	15,228	2,169	22,906	2,295	25,615	2,479	29,514	2,616	35,559
小売	8,919	12,050	10,717	21,163	10,780	25,814	11,664	31,553	11,675	37,293
金融・保険業	47	2,143	51	1,118	57	1,419	48	896	44	891
不動産業	105	4,538	210	6,859	262	9,152	318	16,401	385	26,874
運輸通信業	420	3,007	555	2,366	591	3,183	692	4,865	713	5,989
電気・ガス・水道業	4	159	8	314	15	286	25	487	32	693
サービス業	2,240	6,620	3,466	9,960	4,078	11,722	4,529	13,463	4,843	17,337
その他	6,305	3,163	11,764	7,830	17,267	10,332	35,598	14,588	50,732	18,174

(注) 製造業の内訳は主要なもののみ。また、その他は地方公共団体、個人の合計。資料：日本銀行統計局

金融・運輸

預金・貸出残高

(単位：百万円)

信用組合		労働金庫		商工中金		農協		漁協		年月末
預金	貸出	預金	貸出	預金	貸出	預金	貸出	預金	貸出	
39,112	29,933	5,642	4,165	1,656	6,333	61,400	33,659	1,373	4,799	昭和44年12月
49,060	37,039	7,302	6,144	2,285	7,932	108,845	43,622	1,691	5,141	45
60,193	42,652	9,386	7,092	2,903	9,727	123,074	52,625	1,885	5,099	46
50,471	37,665	8,266	6,831	2,593	8,271	97,582	50,755	2,074	5,102	46. 7
51,399	38,038	8,426	6,890	2,717	8,353	97,651	51,360	1,741	5,177	8
54,688	39,365	8,309	6,904	2,959	8,814	102,313	52,068	1,639	5,221	9
53,307	39,062	8,316	7,031	2,812	8,744	110,893	52,671	1,865	5,182	10
54,065	39,897	8,502	6,903	2,959	8,910	110,263	50,904	1,911	4,991	11
60,193	42,652	9,386	7,092	2,903	9,727	123,074	52,625	1,885	5,099	12
57,620	41,465	9,471	6,981	2,838	9,749	115,996	51,470	1,787	5,001	47. 1
58,236	43,320	9,524	7,003	2,936	10,082	111,761	51,259	2,128	4,824	2
61,405	45,565	10,070	7,328	2,777	10,031	109,808	53,675	2,919	5,693	3
60,329	44,889	9,818	7,172	2,919	10,438	109,976	55,266	2,287	5,271	4
60,761	45,569	9,696	7,474	3,264	10,319	111,305	56,840	2,287	5,271	5
62,526	45,194	10,451	7,511	3,648	10,844	117,068	58,049	2,567	5,002	6
63,645	46,501	10,164	7,808	3,313	11,293	121,106	58,403	2,556	5,262	7

資料：日本銀行水戸事務所

7 運輸

茨城県

鉄道貨物品種別輸送状況

(単位：百トン)

年度・月	総量	鉱産品	林産品	農産品	畜産品	水産品	金属機器	化学	食料	繊維	その他
							工業品	工業品	工業品	工業品	
昭和44年度	65,558	31,462	1,147	4,421	20	1,267	4,175	18,070	763	1,014	3,219
45	65,711	30,829	1,182	4,327	11	1,015	4,482	19,089	715	974	3,087
46	56,953	21,805	1,007	4,754	12	1,039	4,365	19,637	652	734	1,161
46年 8月	4,546	1,745	81	452	0	70	334	1,511	50	61	242
9	4,903	1,861	86	428	1	72	368	1,727	48	64	248
10	4,918	2,014	79	380	2	105	347	1,631	57	61	242
11	5,034	1,930	69	456	1	138	374	1,631	50	53	332
12	5,022	1,729	87	448	1	106	402	1,874	59	63	253
47. 1	4,130	1,474	62	382	1	82	332	1,492	47	42	216
2	4,647	1,622	77	379	0	66	364	1,791	50	45	102
3	5,042	1,704	76	421	1	96	429	1,933	60	51	108
4	3,543	1,317	59	223	1	63	261	1,329	47	40	202
5	4,368	1,666	70	366	1	97	346	1,487	54	46	234
6	3,967	1,554	64	250	1	89	284	1,449	43	36	197
7	4,117	1,554	57	354	1	94	307	1,512	50	34	212
8	3,961	1,427	59	367	1	44	311	1,433	77	38	203

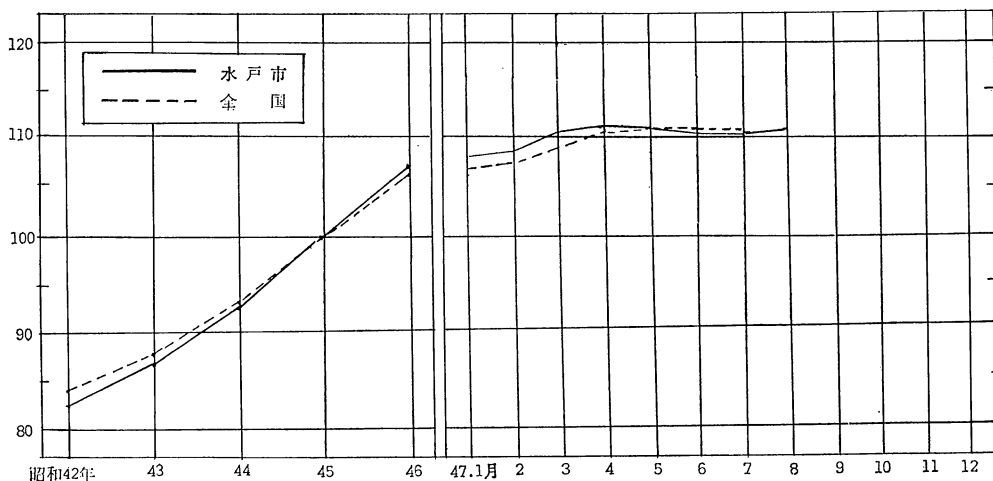
資料：水戸鉄道管理局

物 価

8 物 価

消費者物価指数

昭和45年=100



8-2 物 価

価

水戸市

年 月	消費者物価指数 (昭和45年=100)						
	総 合	対前月比較 (年)比	食 料	住 居	光 熱	被 服	雑 費
昭和44年	92.7	5.7	91.3	90.8	97.7	93.3	94.5
45	100.0	7.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
46	106.9	6.9	107.0	106.4	104.3	109.2	106.2
46.8月	106.4	0.2	104.8	107.0	105.2	109.0	107.1
9	106.4	3.0	111.4	107.2	105.2	112.1	107.2
10	110.4	1.0	113.2	107.4	105.9	114.0	107.2
11	108.4	△2.0	107.8	107.5	106.3	144.4	107.3
12	108.4	0.0	107.2	107.7	106.3	114.2	107.7
47.1	108.5	0.1	107.3	108.9	105.9	113.9	107.8
2	109.1	0.6	108.2	109.3	105.6	113.2	108.9
3	110.2	1.1	110.6	109.3	105.6	113.1	109.4
4	110.9	0.7	111.3	109.9	105.4	111.9	111.1
5	110.6	△0.3	109.0	110.4	105.2	114.5	111.6
6	110.3	△0.3	107.6	110.5	105.2	117.2	111.2
7	110.2	△0.1	106.5	112.4	105.2	117.8	111.2
8	110.7	0.5	108.0	113.0	105.2	116.4	111.6

資料：県統計課

物 価

8-1 費目別物価上昇寄与率

水戸市

品 目	40年	41	42	43	44	45	46
総 合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食 料	51.8	28.9	45.7	47.4	48.2	49.9	39.5
主 食	13.2	8.6	7.1	12.9	9.1	9.1	1.8
その 他の 食料	生鮮魚介	8.1	1.2	8.7	10.6	8.3	8.4
	肉 類	0.5	1.2	4.2	4.7	3.3	1.9
	野 菜	13.5	—	11.4	—	1.5	1.4
	果 物	2.0	8.7	—	0.6	2.5	—
住 居	9.0	13.6	12.7	11.9	14.7	15.3	10.7
家賃地代	5.7	7.7	3.4	2.5	1.8	3.4	2.2
設備修繕	0.4	4.0	8.3	8.2	10.0	7.2	5.7
光 熱	0.4	—	1.1	1.0	1.2	1.3	2.5
被 服	13.6	10.9	5.5	10.3	12.4	11.4	18.3
雑 費	25.2	46.6	35.0	29.4	23.5	22.1	29.0
交通通信	1.4	15.1	6.2	2.4	1.3	2.8	4.5
教 育	3.8	10.7	11.2	10.3	4.8	3.3	4.4
教養娯楽	14.2	19.3	15.4	8.4	11.9	8.4	15.1

(注) 昭和40年基準

資料：県統計課

指 数

全 国

全 国 総 合	消費者物価指数 (昭45年=100)		農産物 物価指数 (昭和40年 度=100)	卸 売 物価指数 (昭40年=100)	戦前基準指数 (昭9~11年平均=1.0)		年 月	
	対前月(年)比較	人口5万人 以上の都市			東京都区部	消費者物価 指数 (東京区部)		卸売物価 指 数
92.9	4.7	92.7	93.3	127.4	107.4	538.9	385.9	昭和44年
100.0	7.1	100.0	100.0	131.0	111.3	577.9	399.9	45
106.1	6.1	106.2	106.3	132.1	110.5	614.3	397.2	46
105.7	△0.1	105.7	105.1	129.8	110.9	607.4	398.6	46. 8
108.6	2.9	108.9	109.4	140.0	110.6	632.2	397.5	9
108.8	0.2	109.0	109.2	139.7	110.0	631.1	395.3	10
107.7	△1.1	107.8	108.2	134.2	109.8	625.3	394.6	11
107.7	0.0	107.8	108.2	133.6	109.8	625.3	394.6	12
107.8	△0.1	107.9	108.3	129.3	109.8	625.9	394.6	47. 1
108.2	0.4	108.4	108.8	130.3	110.0	628.7	395.3	2
109.2	1.0	109.3	109.5	133.2	110.3	632.8	396.4	3
110.3	1.1	110.5	110.4	135.8	110.6	638.0	397.5	4
110.7	0.4	110.9	111.1	140.1	110.6	642.0	397.5	5
110.7	0.0	110.9	111.1	135.2	110.7	642.0	397.9	6
110.7	0.0	110.8	111.2	...	110.9	642.6	398.6	7
...	111.5	...	111.7	...	401.4	8

資料：総理府統計局 農林省統計調査部 日本銀行統計局

家 計

9 家 計

9-1 家 計 主 要 指 標

(単位：円, %)

年 月	勤 勞 者 世 帯								全 世 帯		消費者 物 価 指 数
	実 収 入	(1) 可 処 分 所 得	消費支出	(2) 黒 字	貯 蓄 純 増	(3) 平均消 費性向	(4) 実 質 指 数	(4) 実 質 指 数	消費支出	(5) エンゲル 係 数	
水 戸 市											
昭和44年	98,937	88,721	73,957	14,764	41,663	83.4	89.7	90.4	71,823	31.8	94.5
45	116,677	106,180	86,608	19,572	53,177	81.6	100.0	100.0	84,993	30.1	100.0
46. 5	105,321	96,152	85,919	10,233	9,937	89.4	84.3	92.5	84,027	33.2	107.2
6	202,826	184,858	97,732	87,127	64,723	52.9	162.2	105.3	86,602	30.3	107.2
7	146,487	132,515	98,593	33,922	29,182	74.4	117.2	106.3	98,593	26.2	107.1
8	117,325	107,056	92,669	14,386	8,225	86.6	93.8	99.8	86,576	30.9	107.2
9	103,263	94,637	84,842	9,795	6,248	89.7	82.6	91.4	79,450	35.5	107.2
10	108,179	98,416	90,680	7,736	△1,139	92.1	86.4	97.6	82,638	33.8	107.3
11	98,899	88,998	103,458	△14,459	△23,509	16.2	78.2	110.2	95,563	28.7	108.4
12	368,218	336,481	175,957	160,524	115,944	152.3	291.1	184.4	151,334	25.9	108.4
47. 1	98,163	89,052	88,794	258	5,586	99.7	77.5	94.5	86,156	26.9	108.5
2	106,273	96,410	99,419	△3,008	△8,783	103.1	83.5	105.2	98,469	25.8	109.1
3	124,819	113,353	105,630	7,723	3,318	93.2	97.1	110.7	95,727	30.1	110.2
4	117,802	106,725	99,264	7,461	△5,677	93.0	91.0	103.4	89,564	30.5	110.9
5	111,606	99,841	93,275	6,566	△9	93.4	95.0	100.2	100,611	29.9	111.6
全 国											
昭和44年	97,667	89,865	72,603	17,262	10,855	80.8	93.1	94.6	70,386	34.6	92.9
45	112,949	103,634	82,582	21,052	13,480	79.7	100.0	100.0	79,531	34.1	100.0
46. 5	97,181	88,810	82,679	4,131	690	93.1	81.4	94.8	81,328	35.8	105.6
6	160,706	147,675	91,927	6,131	37,908	62.3	134.2	105.0	85,931	33.4	106.0
7	147,313	135,024	98,395	36,629	28,615	72.9	123.3	112.6	92,234	32.0	105.8
8	109,841	101,140	90,963	10,177	6,294	89.9	92.0	104.2	86,062	34.0	105.7
9	100,750	92,648	84,223	8,425	5,812	90.9	82.1	93.9	81,374	36.0	108.6
10	103,504	94,696	88,111	6,585	1,559	93.0	84.2	98.1	85,488	35.1	108.8
11	101,785	93,272	85,982	7,290	2,245	92.2	83.7	96.7	84,444	34.3	107.7
12	284,927	264,308	142,954	160,524	86,257	54.1	234.3	160.7	130,689	30.8	107.7
47. 1	98,554	90,534	84,033	6,501	10,359	92.8	81.0	94.4	82,956	29.7	110.3
2	100,459	91,816	81,485	10,331	2,981	88.7	82.2	91.2	80,491	34.1	108.2
3	116,729	106,623	98,351	8,272	889	92.2	94.6	109.1	95,685	31.9	109.2
4	109,159	98,954	94,493	8,272	△842	95.5	87.6	103.7	92,305	32.3	110.3
5	109,159	98,954	94,493	4,462	△842	93.6	85.5	99.6	89,869	34.9	110.7

(注) (1) 実収入-非消費支出 (2) 可処分所得-消費支出
 (3) 消費支出÷可処分所得 (4) 当該項目(45年=100)÷消費者物価指数
 (5) 食料費÷消費支出

資料：総理府統計局

家 計

9-2 1ヵ月1世帯当たりの収入と支出（勤労者世帯）

水戸市		収 入										(単位：世帯，人，歳，円)	
年 月	集 計	世 帯	有 業	世帯主	収入(支出)	実 収 入	勤 め 先 収 入	事 業 ・ 内 職 収 入	他 の 実 収 入	実 収 入 以 外 の 収 入	前 月 か ら の 繰 入 金		
	世帯数	人 員	人 員	の 年 齢	総 額								
昭和44年	67	3.89	1.55	41.8	149,178	98,937	88,203	2,272	8,462	22,877	27,365		
45	73	3.86	1.38	41.2	172,987	116,677	108,261	2,699	5,716	23,252	33,059		
46. 5	67	3.90	1.54	42.2	154,575	105,301	92,660	4,842	7,799	14,749	34,525		
6	65	3.89	1.49	43.3	263,639	202,826	193,297	3,728	5,801	29,246	31,568		
7	63	3.78	1.54	44.7	213,863	146,487	136,370	7,111	3,005	26,466	40,911		
8	66	3.82	1.52	44.3	179,375	117,325	99,734	2,369	15,222	24,460	37,591		
9	67	3.91	1.42	43.4	166,001	103,263	89,282	3,498	10,483	28,893	33,845		
10	67	3.91	1.49	44.4	165,437	108,179	100,191	3,420	4,568	24,366	32,892		
11	67	3.96	1.51	45.7	186,462	98,899	93,746	1,302	3,851	50,141	37,422		
12	64	3.86	1.45	45.3	451,829	368,218	353,769	955	13,495	53,903	29,709		
47. 1	66	3.92	1.44	43.3	174,577	98,163	90,311	846	7,006	27,899	48,515		
2	66	3.88	1.38	44.0	180,528	106,273	101,521	954	3,797	35,928	38,327		
3	66	3.77	1.33	44.0	191,167	124,819	117,768	1,392	5,659	29,315	37,033		
4	64	3.73	1.30	43.3	183,118	117,802	105,822	5,721	6,259	31,826	33,490		
5	64	3.56	1.28	43.0	173,428	111,606	104,820	2,512	4,274	25,053	36,769		

水戸市		支 出									
年 月	実支出	消 費 支 出						非消費 支 出	実支出 以外の 支 出	繰越金	現 物 総 額
		計	食料費	住居費	光熱費	被服費	雑 費				
昭和44年	81,659	73,957	21,938	9,389	2,775	8,023	31,852	7,702	37,692	29,826	4,648
45	97,105	86,608	25,014	9,258	3,190	10,385	38,761	10,497	42,794	33,088	5,477
46. 5	95,088	85,919	27,606	4,210	2,680	8,596	42,827	9,169	29,047	30,441	6,231
9	115,699	97,732	26,624	7,748	2,545	10,411	50,404	17,967	106,967	40,973	6,765
7	112,568	98,593	25,794	11,883	2,468	9,402	49,046	13,972	60,857	40,441	11,752
8	102,939	92,669	26,462	11,120	2,444	7,104	45,540	10,269	40,595	35,842	5,678
9	93,468	84,842	27,640	8,171	2,321	12,029	34,681	8,626	39,613	32,921	4,678
10	100,443	90,680	28,037	6,282	3,298	13,633	39,430	9,763	28,064	36,930	5,602
11	113,359	103,458	27,511	16,073	3,352	10,839	45,682	9,901	42,558	30,545	5,917
12	207,694	175,957	41,089	30,780	5,511	26,292	72,286	31,736	195,482	48,653	15,710
47. 1	97,905	88,794	22,987	5,299	4,605	11,345	44,558	9,111	41,175	35,497	8,874
2	109,282	99,419	26,244	9,532	5,141	11,825	46,677	9,863	33,509	37,737	4,235
3	117,096	105,630	29,622	6,664	4,278	14,070	50,997	11,466	41,346	32,726	6,703
4	110,341	99,264	28,879	9,341	3,630	11,617	45,797	11,077	32,754	40,023	7,518
5	105,040	93,275	29,872	11,426	3,103	9,918	38,956	11,765	33,385	35,003	6,478

(注) 集計世帯数，世帯人員，有業人員，世帯主年齢は支出にも該当する。

資料：総理府統計局

統計グラフコンクールを省りみて

県統計グラフコンクール審査員 宮 本 寿 雄
教育庁指導課指導主事

統計グラフコンクールの応募点数は年ごとに増加し、本年は総数で1,617点、参加校は268校となった。とくに、中学校は321点で昨年の2.8倍にあたり、統計についての関心が高まったことを示している。この応募数の増加は、統計グラフ巡回展示会の実施が大きな力となっていることが考えられ、本県の統計教育の推進に期待がもたれるものである。

応募作品は、各部ともレベルの向上がみられ、初参加校の作品の中にもすぐれたものが多くあって、学校差がすくなくなってきた。

審査にあたっては、次のような観点によって慎重に行なった。

1 主題の設定

何を表現しようとしているか、グラフを読むものに理解される表現であるか、訴える力があるか。

2 資料の収集

信頼性はあるか、主題に合ったものか、出所は明確か。

3 図形の選定

グラフの種類は適切か、作図の技法は正しいか、グラフや文字の量は適切か。

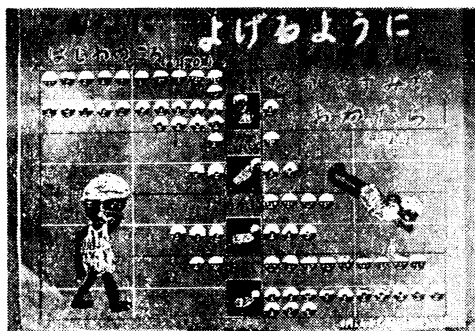
4 色彩

コントラスト、明るさなどは適切か。

5 発達段階

学習した知識、技能が生かされているか。

入選作品のうち、第2部の「茨城にも光化学スモッグ」は、本県にも、注意報の出されるようになった大気汚染による公害を表現したもので、関心をあつめる作品である。第3部の「ふたつの顔沖縄」は、本年5月に本土復帰した沖縄への関心を父兄と生徒のアンケートの結



【第1部小学校1～3年第1席 鈴木紀子・国府田八千代】

果をまとめたもので、中学生らしい技法と色彩がよい。また、第1部の「こんなにおよげるようになりました」は、水泳練習の成果を表現したもので、1年生らしい資料のあつめ方、まとめ方によって発達段階に即した表現をしている。このほか、学校生活の中から主題を選んだもの、公害や交通事故に焦点をあてたもの、親子、友人など対人関係を取りあげたものなど、すぐれた作品があった。

第1部、第2部は、自分で資料をあつめグラフ化するというねらいがあるが、資料のあつめ方が適切でないために訴えるものがない作品となったものがあつた、指導にあたられる先生方に、適切な助言をお願いしたい。

審査の結果から今後の統計グラフ作成上の留意点をあげると次のようになる。

- 1 主題に合ったグラフを選ぶ。
- 2 何を訴えているかがはっきりわかる表現をする。
- 3 観察記録は、単なる日変化でなく因果関係がわかるような記録をとってグラフ化する。比較の条件を示すこともたいせつである。
- 4 色彩を重視する。

これらの点に留意し、今後、すぐれた作品が多数応募されることを期待したい。

私の健康法

人はだれでも健康でありたいと願ひ、健康でありたいため多かれ少なかれ人それぞれに健康法を考え実行していることと思う。私も冷水摩擦、ラジオ体操、マラソン、なわとびなどいろいろな健康法を朝晩実行してみたがいずれも3日坊主で長続きしない。今更ながら自分のふがいなさにただただあきれるばかりである。

ただその中で一つだけ今でも実行しているのは、朝晩の通勤に少々歩くことである。今から7年前衛生部に勤務して間もなく、水戸保健所の所長さんが健康のため毎日1万歩以上歩いている話をきき、1万歩の根拠はわからないが、とにかく医師である所長さんがいわれるのだから間違いはなからうと、それ以来多かれ少なかれ毎日歩くことにつとめたのである。はじめ5日程自宅から県庁まで約4キロを歩いてみたが、到着してからどうも少し疲れるような気がして、それからは歩いて疲れたら途中でバスの乗ることにした。3カ月程歩いているうち子供達から誕生日にと「万歩メーター」が贈られた。これはおもしろいと毎日これを腰にさげて1週間通勤してみた。その結果は、

起床時から通勤時まで 400 - 500歩

自宅出発からバス停まで 400～450歩
 バス下車から県庁まで 400～450歩
 出勤時から退庁まで 2,000～3,000歩
 帰宅時から就寝まで 400～500歩

となりバスで通勤すれば自宅で歩くのも含めて4,400～5,800歩となり1万歩にはほど遠いことがわかった。そこで次の週は、自宅から大工町まで約2キロを歩いたら、これは約25分（途中で信号がある）で2,900～3,100歩でそれでも1万歩に足りない。さらに帰途県庁から大工町まで約2キロを歩いたところ、これも約25分で2,800～3,000歩であった。

つまり私の場合毎日5,000歩内外、時間にして40分～50分、キロにして4キロ内外を意識的に歩かないと1万歩にたらないし、健康法にもならないわけで、それ以来7年余、朝は自宅から大工町まで、帰りは反対に県庁から大工町まで、それぞれ2キロを25分内外で歩き続けているわけである。その効用はと聞かれるといまだにうやむやであるが、とにかく今はよかれあしかれ歩くことが習慣であり、また楽しみでもある。

（県統計課長 青木正寿）

統計ニュース

◇ 11月の主な行事 ◇

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| ○1～2日 消費者動向予測費査関東甲信静ブロック会議 | ○15～16日 毎月勤労統計調査抽出替東日本ブロック会議 |
| ○ 2日 労働力調査標本管理調査 | ○16～17日 労働力調査特別研修会 |
| ○8～9日 法人企業投資予測調査関東甲信静ブロック会議 | ○ 16日 第14回茨城県統計大会 |
| ○13～15日 市町村民所得推計事務研修会 | ○21～22日 第2回統計調査員研修会 |
| ○14～15日 小売物価統計調査関東甲信静ブロック会議 | ○ 24日 人口統計解析研究会 |
| | ○28～30日 統計主事資格認定講習会 |
| | ○30日 住宅統計調査試験調査日 |

■ 第14回茨城県統計大会のお知らせ ■

統計の祭典第14回茨城県統計大会は、茨城県と茨城県統計協会の主催により、昭和47年11月16日（木）午前10時から、水戸市千波町の県立県民文化センター大ホールで開かれます。参加者は約1千名が予定され、大会の行

事としては、統計功労者および県統計グラフコンクール入賞者の表彰、県統計グラフコンクール入賞者の研究発表、大会宣言、アトラクション等が行なわれます。